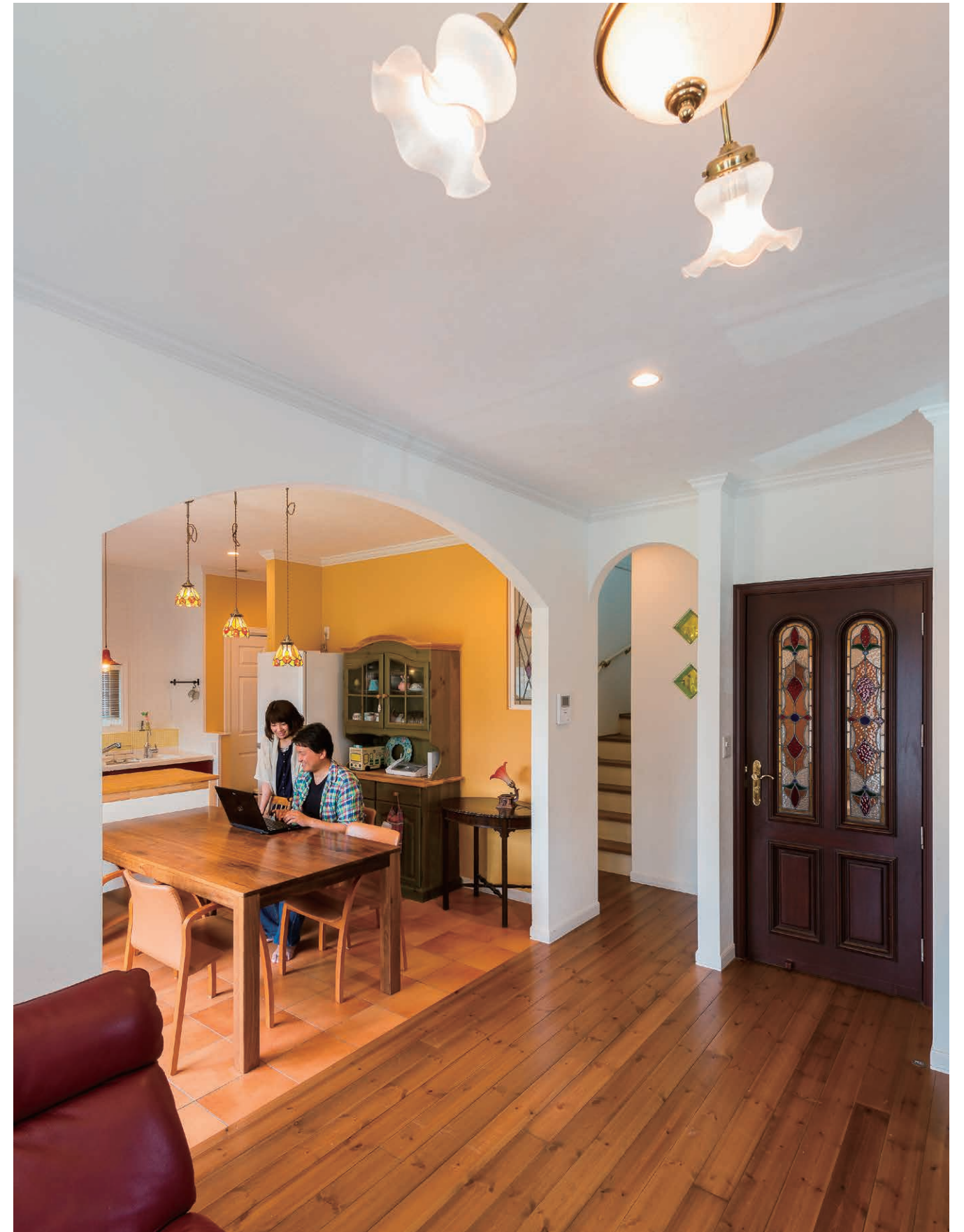


時代を超えて受け継いだ アンティーク家具を楽しむ家

設計・施工 | 宮田工業株式会社 / ブルースジャパンMIYATA



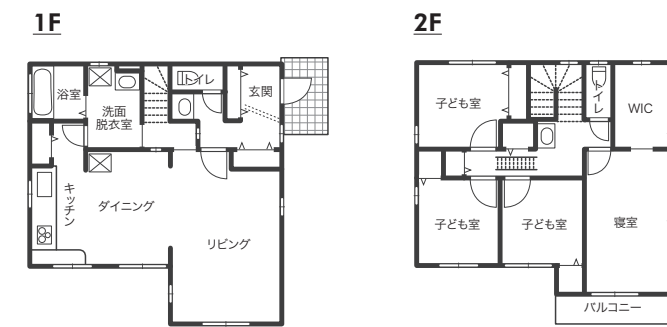
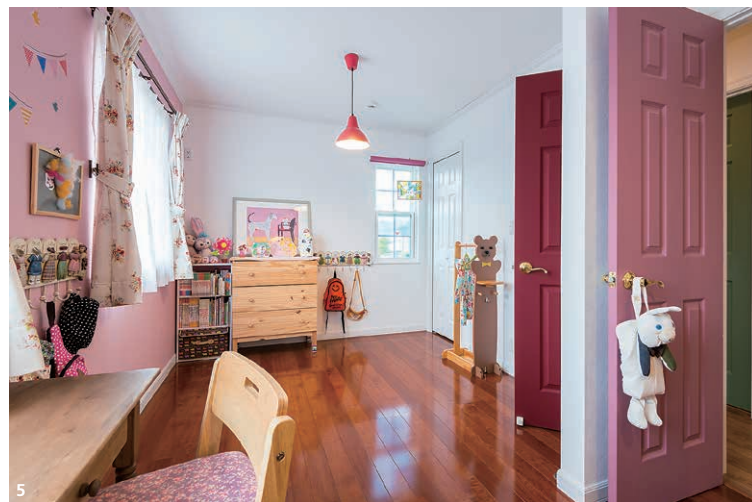
上 / シンメトリーに配置した窓とミラーがクラシカルな雰囲気のリビング。重厚なテーブルや左手のチェストはご両親から受け継いだイギリスのアンティーク 下 / 壁付けカウンターと壁面の造作棚を組み合わせ、収納量と低コストを実現したL字型キッチン。最小限の移動で作業できる。左手のイケアの木製チェスト上部も作業スペースで、料理好きな奥さまはここでパンやケーキ作りを楽しんでいる



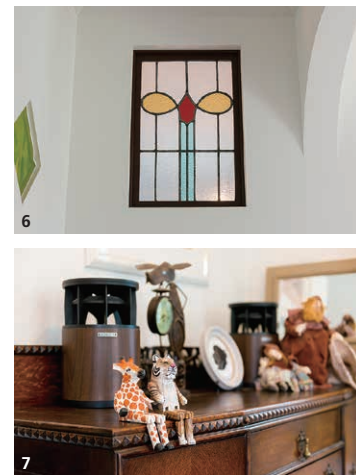
アーチの壁で空間をゆるやかに分けたLDK。ダイニングキッチン南フランスをイメージして明るくポップに、リビングはアンティーク家具が主役の落ち着いた雰囲気になっている。床材も、無垢フローリングとテラコッタ風タイルに張り分けメリハリを。右手に見えるスタンドグラスが美しいドアは、ご両親から受け継いだアンティーク。もともと玄関用だったものをリペアした

長野市
K邸

00 CASE



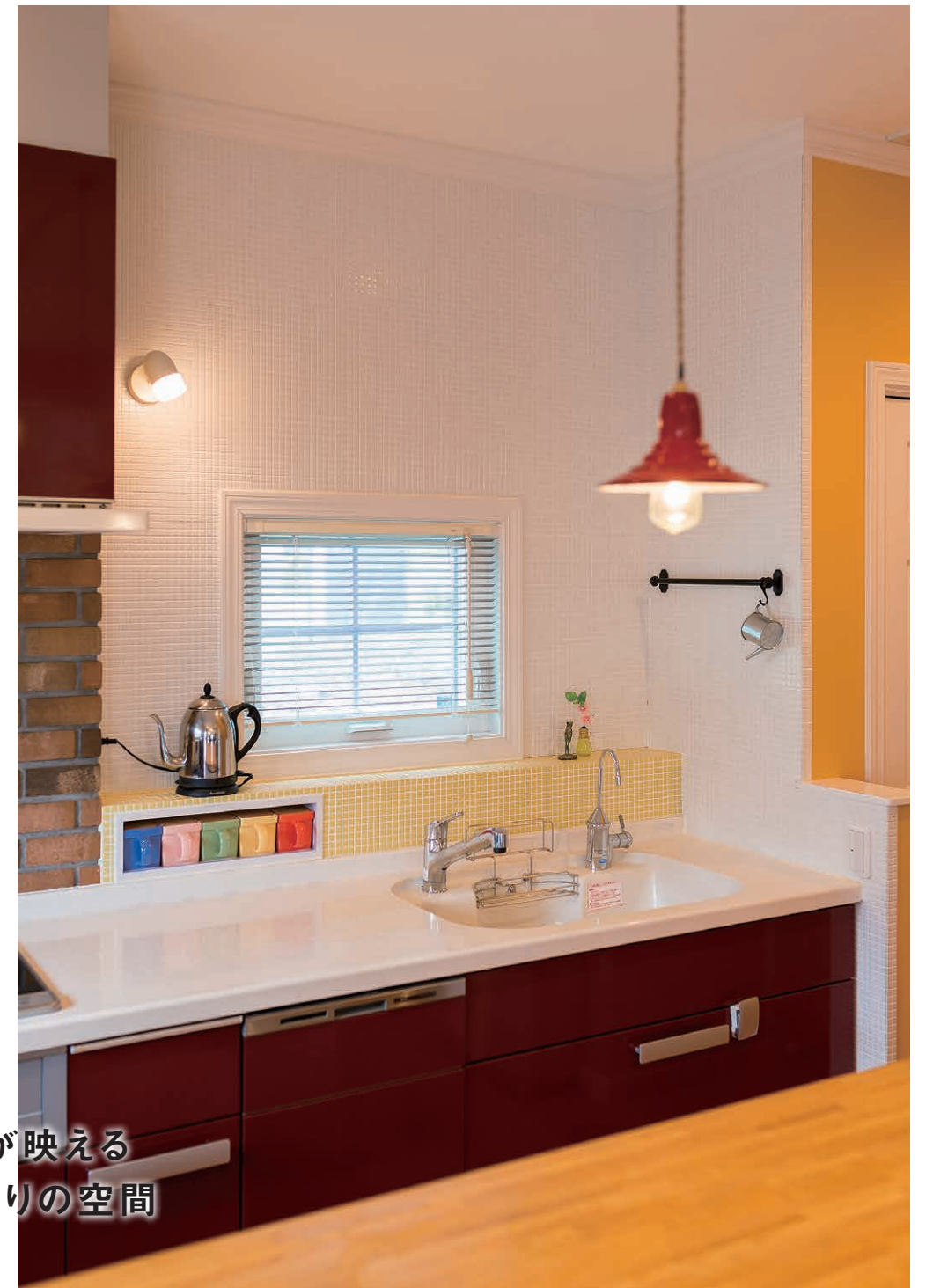
1.三角屋根が印象的なK邸。屋根と窓飾りは深紅で統一し、白い外壁とツートンカラーに 2.階段下のスペースを活かした1階の洗面カウンター 3.玄関ホールから洗面室、奥のキッチン、さらにリビングまで回遊できる効率的な動線 4.長男の部屋。勉強机は奥さまが子どもの時に使っていたもの 5.ピンクがテーマカラーの長女と次女の部屋。ふたつのドアは異なる色で塗装。色は現場で調合し、微妙なニュアンスを表現した 6.カラフルなステンドグラスが随所にありとても華やか 7.リビングのチェストの上には家族の思い出が詰まった人形やスピーカー、時計がズラリと並び



右 / 奥さまがセレクトした深紅のキッチン。水はねしやすい壁は天井までモザイクタイルで統一し、色を切り替えて楽しんでいる
左 / アンティークドレッサーの大理石天板を丸くくり抜いてリメイクした洗面カウンター

00

アンティーク家具が映える
すべてがお気に入りの空間



DATA
 家族構成 / 夫、妻、長男、長女、次女 施主 / 40代・会社員
 竣工 / 2014年7月 構造・工法 / 2×4 工期 / 約4か月
 建築費 / 2,000万円台 (建物のみ・税込) 延床面積 / 114.27㎡ (34.56坪)
 1F / 58.79㎡ (17.78坪) 2F / 55.48㎡ (16.78坪)
 設計 / 宮田工業一級建築設計室
 施工 / 宮田工業株式会社 / ブルースジャパンMIYATA
 ☎026・283・8855

「両親が集めるイギリスのアンティーク家具やアートが身近にある環境で育った奥さま。ご自身の住まいでもヨーロッパのような雰囲気を感じ、工務店選びはデザイン性を重視した。ご夫妻で10社以上回ったが、「デザインが気に入っても予算で断念することが多く。宮田工業は輸入住宅のような家が自由設計でできるうえ、価格も良心的でした」とご主人。依頼の決め手は、担当の村山さんの真摯な対応だ。「妻の妊娠もあり、工務店選びに3年以上かかったんです。その間ずっと気にかけて、連絡してくれたのは村山さんだけ。信頼できると感じました。」

室内に入ると、奥さまが選んだタイルや塗装の豊かな色彩と素材感、そこに調和するアンティーク家具に目を奪われる。家具の多くは奥さまのご両親から引き継いだもの。あらかじめ配置を考えて間取りを決めたため、空間にしっかりと馴染んでいる。古いドレッサーを洗面台にリメイクしたり、奥さまが幼い頃使っていたデスクを長男が引き継いだりと、本当に良いものは時代を超えて受け継がれることを教えてくれる。

LDKで印象的なアーチ状の壁は、「キッチンとリビングの空間はつながりたいけれど、雰囲気を変えたい」という奥さまの希望から設計。動線も工夫し、玄関から洗面室、キッチンへと回遊する動線や作業台中心のオープンキッチンなど家事効率は抜群。思い出の家具と共に、家族の成長を見守る住まいだ。